

## 2012年春季闘争

第185回中央委員会にて  
2012年春闘方針を決定



一致団結ガンバロー



全会一致で方針案を採択



議長団を務めた  
日立電線労組、大友中央委員(写真左)  
古河G労連、山内中央委員(写真右)

本日は  
(2月21日)  
**全電線**  
統一要求提出日  
です。

全電線に結集する  
各単組・組合員の皆さん

おはようございます。

### 闘争日程

- 2月28日(火) 第1回統一交渉日
- 3月6日(火) 第2回統一交渉日
- 13日(火) 山場ゾーン
- ~21日(水)

### 回答指定日

- 3月14日(水) Aブロック単組
- 15日(木) B・Cブロック中戦単組
- 16日(金) B・Cブロック単組

## I 「新たな豊かさと生活の安心・安定をめざす」ための『総合的な労働条件改善闘争』との位置づけのもと取り組みます。

### 雇用を守る取り組み

○雇用の維持・確保を、最優先すべき最大の課題と位置づけ取り組みを推進します。

### 賃金

- 生活維持などの観点から、「定期昇給をはじめとする賃金構造維持分の確保」を図り、実態に応じて条件の整う単組については「賃金改善」に取り組むこととします。
- 賃金構造維持分が制度上で確保されていない単組は、賃金カーブ維持分として4,500円を要求します。
- 年齢別最低賃金についての検証や、18歳高卒正規入社初任給に組み込み、また、企業内最低賃金については18歳の位置づけで協定化を図ります。

### 年間一時金

- 平均方式における要求基準については、5ヵ月中心とします。なお、産別ミニマム基準については「平均原資年間4ヵ月」とします。
- 最低保障方式における要求基準については、産別ミニマム基準として4ヵ月とします。

### 退職金引き上げ

- 到達方式による取り組みとし、「中卒・勤続35年・60歳」で取り組む定年退職金の到達水準を1,600万円以上とします。また、銘柄を「勤続42年・60歳」とする場合は、現状把握を行い各単組の主体性のもと水準の引き上げに取り組めます。

### ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

#### (1) 労働時間短縮

- 時間外労働時間規制の厳守、平均時間外労働時間の圧縮、また、総実労働時間短縮の有効な手段の一つである年次有給休暇の取得促進など積極的に取り組みます。

#### (2) 次世代育成支援

- 一般事業主行動計画策定には労働組合が参画するとともに、引き続き行動計画における実施状況のフォローを行うことなど、諸制度のさらなる充実を図ります。

#### (3) 育児・介護への対応

- 「育児・介護休業法」の改正主旨を踏まえ、協約締結を行う際には、すべての労働者が制度の対象となるよう活用促進に向けた実効性ある取り組みを行います。

### 60歳以降の雇用確保

- 就労希望者全員の雇用確保を基本に、労働者の立場に立った労働条件の向上に向け、現行制度の内容整備・実施状況の点検など、春闘期間中も含め各単組の実態に即し取り組みます。

### 労働諸条件の改善の取り組み

- 組合員の生命と健康を守り、職場から労働災害を出さないことを第一義とした取り組みを積極的に推進します。不幸にして災害に見舞われた場合の公的給付の付加補償としてJCの取り組みや世間動向を踏まえ、それらの動きと連動する形で取り組み、産別水準に到達していない単組においては、到達に向けて取り組みます。
- 同じ職場の働く仲間として、雇用の安定と職場の安全確保、公正な労働条件の確保、および受け入れ時の対応など、労使協議の充実を図り、また組織化についても取り組みを推進します。

## II 生活環境の改善と産業政策の実現に取り組めます。

## III 産別自決を基本に全単組が一体となった闘争を推進します。